

前回、参加者の感想（facebookより）

■1月26日、部分参加を含め11人集まりました。開始は13時30分。前半は『人はなぜひとを「ケア」するのか』読書会。後半は懇親会。最後の方とサヨナラしたのは、確か、23時半頃だったような。（Ｈ）

■昨晩の<ケア>を考える会は、システムやマニュアルでなく〈ケア〉を考

えること、美味しいご馳走→ビール→梅酒→日本酒→ワイン→焼酎(こがし

麦焼酎「おこげ」絶品！)→語り合い→延々と続く、で久しぶりの終電帰り

でした＼(^o^)／  
充電完了で、明日の実習最終日、頑張りますm(\_\_)m　（０）

○日時：201３年３月３日（日）13：30～

○会の前半（読書会）

佐藤幹夫著『人はなぜひとを「ケア」するのか』

第3・4章（岩波書店）

○会の後半（懇親会）

食べながら、飲みながら、語り合います

○参加費：無料（食べ物、飲み物持ち込み歓迎）

○場所：京都市中京区西ノ京内畑町3１

ＧＬマンションⅢ－303 （林）

「二条」駅（ＪＲまたは地下鉄）より北へ徒歩５～8分

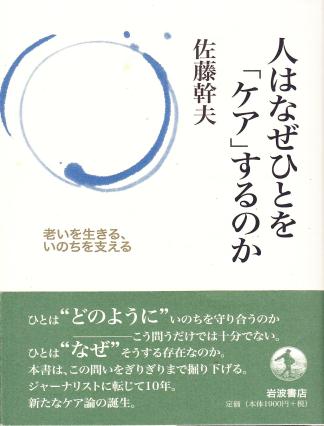
（二条自動車教習所の西隣）

○問合せ・申込：林道也　[884michiya@gmail.com](mailto:884michiya@gmail.com)　　TEL.090-5366-1497

○ホームページ：<http://care-kyoto.jimdo.com/>

○どなたでも参加できます。初めての方も歓迎です。

■今後の予定など

（1）第8９回 〈ケア〉を考える会   
日時：2013年４月６日（土）13:30～   
場所：未定

内容：**“花見”**を兼ねて

（2）第36回 認知症介護研究会

日時：2013年2月23日（日）14：00～18：00  
場所：キャンパスプラザ京都（会場が変わっています）  
報告：**佐藤幹夫**（フリージャーナリスト）  
　　「高齢者医療・認知症ケアの現場から社会を考える（仮題）」  
司会：天田城介（立命館大学大学院先端総合学術研究科）

佐藤幹夫さんのことば

ケアが、合理化と効率化のかけ声のもとでマニュアル化される時、ケアを受ける側の個別性や実存は消されていく。  
マニュアル化でき難いところにこそ、「ケア」の最も重要で本質的なテーマがあるのではないか